

室内熱中症予防啓発活動「クールdeピースPROJECT」

株式会社 LIXIL

【住所】〒136-8535 東京都江東区大島 2-1-1 【TEL】 03-3638-8111
 【URL】 <https://www.lixil.co.jp/>

活動概要

適応分野

取組の概要

熱中症の約 40%が住居で発生しているという課題を伝え、多くのパートナーと協働して、プロジェクト活動を推進する事で室内熱中症の予防啓発活動を行い、気候変動の「適応策」の必要性を伝え、室内熱中症の予防啓発を推進している。富士市立岩松北小学校・静岡県富士市とともに、外付け日よけ「スタイルシェード」を使った産学官の共同検証実験を、2020年7月より実施した結果、熱中症の警戒レベルである WBGT 値を約 25℃に抑える事ができ、教室の快適度も 20%から 93%となり大幅改善がみられた。産学官の取組の先行事例ができたことで、LIXIL 社内や関係先である代理店、流通店などにおいても活動のノウハウを共有し、新たな改善事例が展開されはじめている。



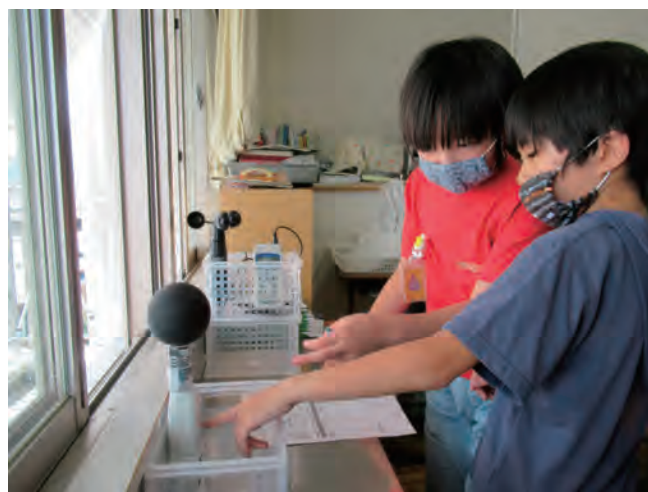
岩松北小学校に設置した「スタイルシェード」

気候変動対策としての貢献度

活動の結果、富士市内の公立小中学校 43 校に富士市教育総務課から、窓の換気方法と実証実験結果について展開されている。熱中症予防声かけプロジェクト「ひと涼みアワード 2020」にて共同実施した富士市立岩松北小学校が、官民連携部門で「最優秀賞」、行政部門で「トップランナー賞」を受賞した。「住」にかかわる企業として、CSR や SDGs に関する社員教育を千名以上に実施するとともに、地域の流通店や代理店、ビルダー、リフォーム店に向けても推進活動を展開し継続した普及促進につなげていく。

期待される波及効果

室内熱中症の啓発を通じて、保育所・幼稚園、小学校にスタイルシェードを設置し、気候変動の適応策を推進したいという課題解決の取組について問い合わせが来ており、普及促進が加速化している。



コロナ禍における夏の教室環境を測定

刷新的要素

2017 年より室内熱中症の予防啓発活動を LIXIL 製品の「スタイルシェード」を活用し推進してきた。自治体や学校関係者、有識者や市民に至るまで、多くの方と協力しパートナーシップを組むことで、各立場から気候変動の緩和と適応の重要性を伝え情報発信していただき、広く啓発活動を推進してきた。LIXIL 社内や代理店、流通店などにおいても活動のノウハウを共有し、新たな産学官の改善事例が展開されはじめている。

今後の計画、持続的な展開の展望

2021 年度は「住」から未来を変えていく事を目指し、教室内の活動を自宅や地域に活動の範囲を広げて、児童の主体的活動を LIXIL や富士市など大人世代がサポートし、SDGs 教育の仕組みを作り、活動 STEP やツールを標準化する事で、学校教育の中で持続可能な担い手を育成する為、SDGs や気候変動の緩和と適応について学べる教育モデルを確立する事を目標に活動を推進していく。

全国でいくつかの学校からモデル検証の要望が来ており、継続して学べる環境を整備する事で、子供世代からも持続可能な社会に向けて考えて行動できる体制を作り普及促進につなげていく。